

科目名	医療保障政策論	code number : HPM-BIZ 212	選択	1 単位
-----	---------	------------------------------	----	------

科目責任者	渋谷 克彦 講師						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	火曜 4時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

我が国の社会保障制度全体における保健医療制度の位置づけを理解しつつ、我が国の保健医療制度の現状、課題につき医療提供体制及び公的医療保険制度のあり方を中心に検討する。また併せて介護保険制度など他の福祉制度との連携の在り方についても考えていく。なお、授業はなるべく双方向的に進めたいと考えているので積極的意欲をもった参加者を期待する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

保健医療(とくに医療)分野における行政制度・政策の概要、政策課題について理解し、今後保健医療の現場において指導的な役割を果たすための基礎的知識を得るとともに、今後の保健医療政策のあり方について自ら考え提案できる力を養うことを目標とする。

【行動目標(SBO)】

1. 社会保障の概念と基本的な考え方について説明できる。
2. 日本の保健医療政策の特徴(諸外国との比較含む)について説明できる。
3. 医療施設、医療マンパワー、地域医療計画、介護保険制度について説明できる。
4. 日本の保健医療政策の抱える課題およびその解決策について検討し、提示することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 課題・レポート(50%)
 - (2) 授業での積極的な発言や発表、討議参加(50%)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限内に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

それぞれの授業にあたり、資料を配布する。

5. 参考書

上記文献のほか、厚生労働省『厚生労働白書』(厚生労働省HP)、厚生労働協会『国民衛生の動向』など

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・事前に椋野・田中『はじめての社会保障』(有斐閣)、池上直己『ベーシック医療問題』(日本経済新聞社)、島崎謙治『医療政策を問いなおす』(ちくま新書)などを読んでおくことを期待する。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

医療保障政策論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/15(火)	4	井口 直樹 教授(客) 渋谷 克彦 講師	社会保障と医療～社会保障の歴史と理論・社会保障の中の医療
2	9/29(火)	4	井口 直樹 教授(客)	日本の保健医療政策～政策体系と政策立案プロセス
3	10/6(火)	4	井口 直樹 教授(客)	医療サービスの特性と医療保障政策の必要性
4	10/13(火)	4	井口 直樹 教授(客)	医療提供体制の整備～医療施設とマンパワー・医療計画・医療構想
5	10/20(火)	4	井口 直樹 教授(客)	公的医療保険の役割と持続可能性
6	10/27(火)	4	井口 直樹 教授(客)	医療費問題と医療費適正化対策を考える
7	10/30(金)	4	井口 直樹 教授(客)	地域包括ケアシステムを考える
8	11/6(金)	4	福田 吉治 教授 井口 直樹 教授(客) 渋谷 克彦 講師	「今後のあるべき医療のあり方」について～発表・討論